

## ENIGMAとシグナスX(2型/3型) / B 'W125の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なシグナスXの整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外してください。ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面左下にECUがプラスネジ2本で固定されています。

ECUに繋がっている34ピンカプラーを外し、配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。ENIGMAは近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後ECUを取り付けてください。

2型/3型用ENIGMAは4型CYGNUS-X(リアディスクブレーキタイプ)には使用できません。CYGNUS-X(4型)専用FirePlusをお使いください。

カプラー側の配線にENIGMA配線をインジェクター線を除き**割り込み接続します。**

**(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)**

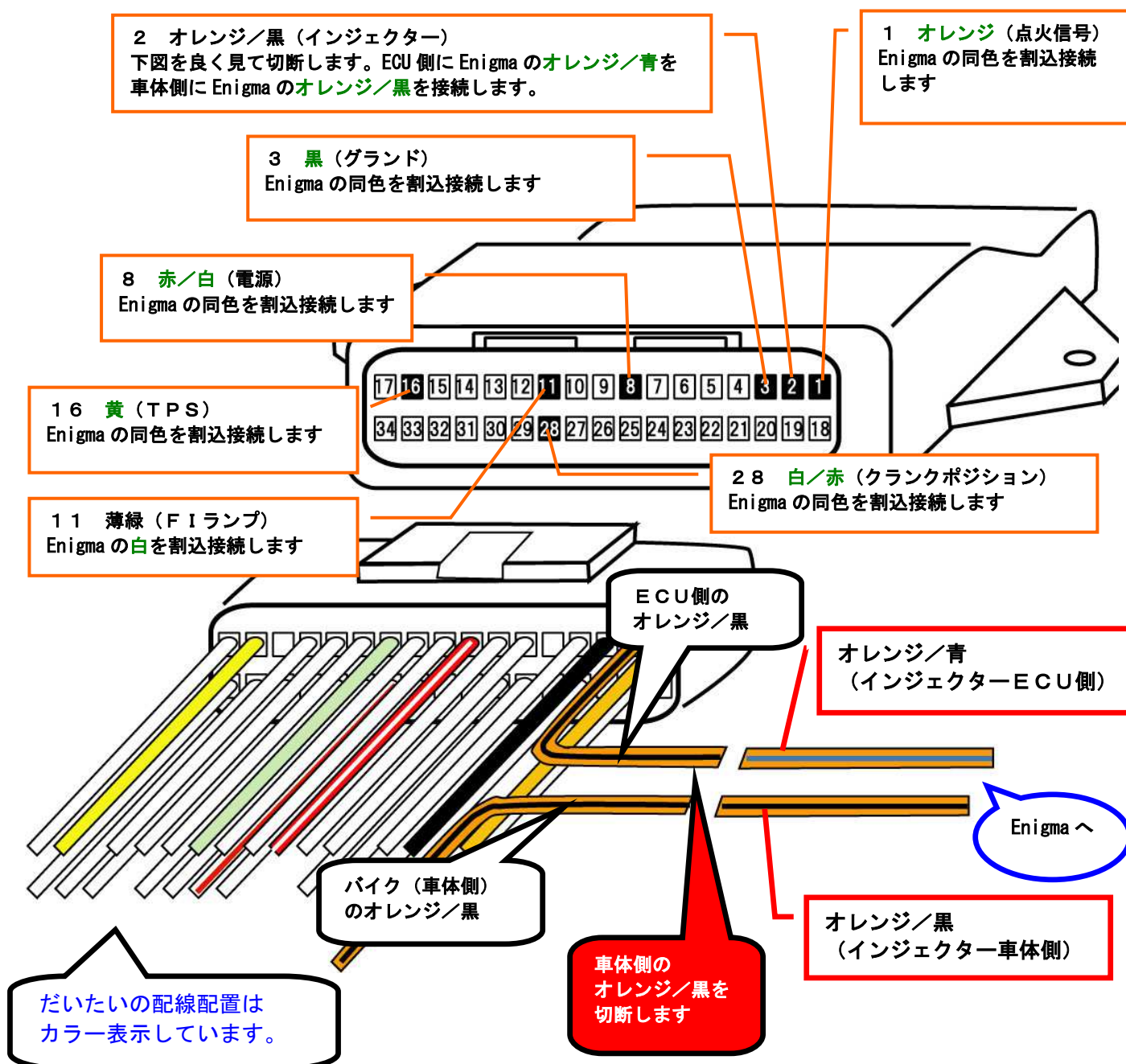
**割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く**

**ENIGMAの動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。**

RTFタイプをお使いの方は、下記の配線作業は必要ありませんので、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA RTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMAから接続する配線は全部で8本です。  
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ ECUの2番端子(オレンジ/黒)へ接続されている線を切断して、ENIGMAからの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 11番端子は薄緑線ですが、ENIGMAの白線と接続して下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、2、3、8、11、16、28の7箇所です。上図で良くご確認下さい

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。

市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に  
応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。国内モデルの CYGNUS-X  
に台湾モデル用のメーターを接続してタコメータを表示させるためには電圧が違うため使用できません。接続  
すると ENIGMA が壊れます。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通  
信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、  
Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※CYGNUS-X(2/3 型) ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)  
や CYGNUS-X(2/3 型)用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

## ENIGMA Type-P とシグナスX(2型/3型) / B'W125 (ECU) の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なシグナスXの整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外して下さい。ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面左下にECUがプラスネジ2本で固定されています。

ECUに繋がっている34ピンカプラーを外し、配線を加工してENIGMA Type-Pを割り込みさせて下さい。ENIGMA Type-Pは近くに水に濡れないよう取り付けして下さい。配線加工後ECUを取り付けて下さい。

2型/3型用ENIGMAは4型CYGNUS-X(リアディスクブレーキタイプ)には使用できません。CYGNUS-X(4型)専用FirePlusをお使いください。

カプラー側の配線にENIGMA Type-P配線をインジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続します。**  
(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

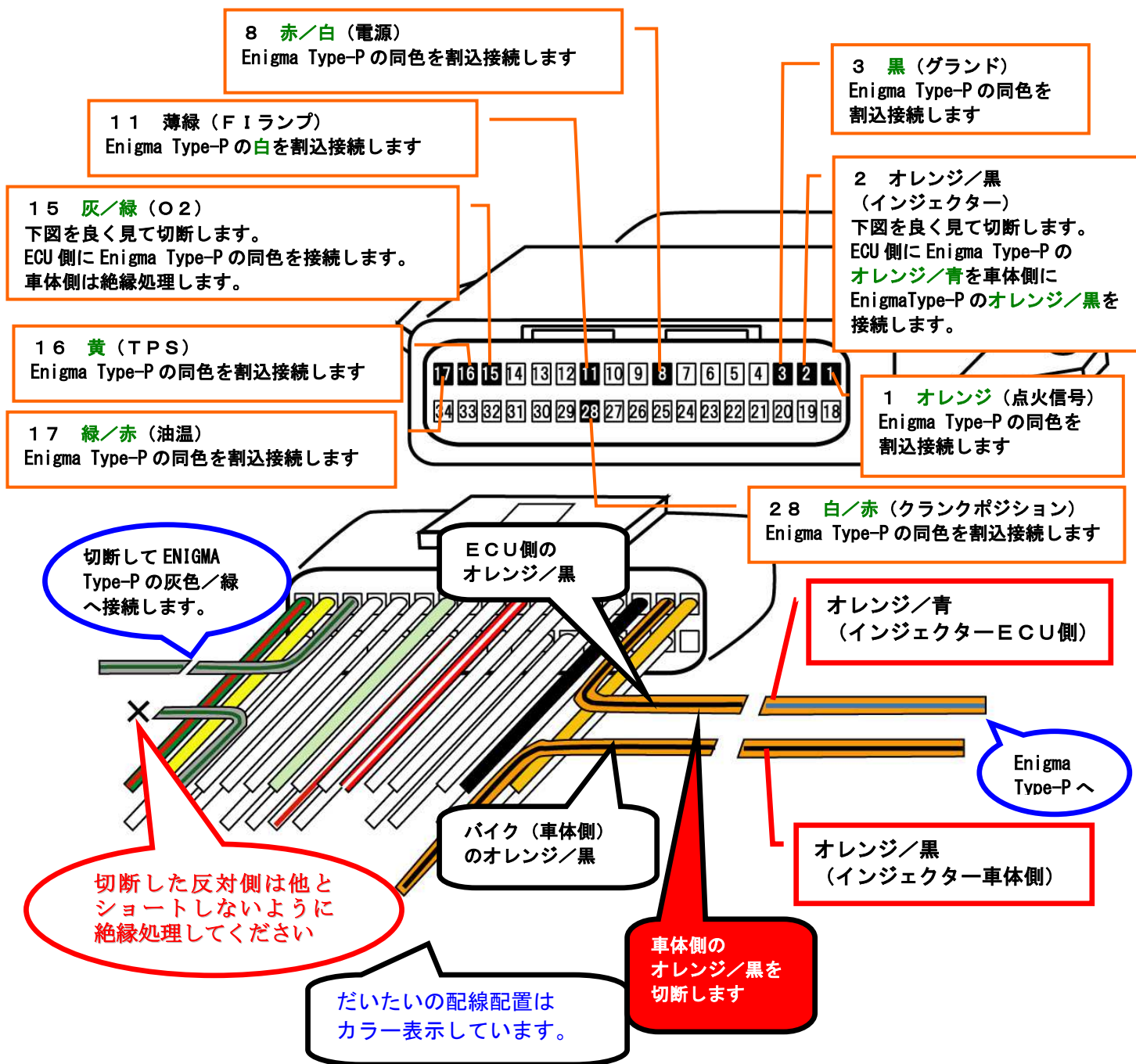
**割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く**

**ENIGMA Type-Pの動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。**

PRTFタイプをお使いの方は、下記の配線作業は必要ありませんので、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA PRTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続して下さい。「カチッ」とロック音がすることを確認して下さい。

- 基本的にENIGMA Type-Pから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。  
ENIGMA Type-Pから接続する配線は全部で10本です。  
**ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**
- ※ ECUの2番端子(オレンジ/黒)へ接続されている線を切断して、ENIGMA Type-Pからの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 11番端子は薄緑線ですが、ENIGMA Type-Pの白線と接続して下さい。
- ※ O2センサーへ接続するECU15番端子(灰/緑)線は、切断してECU側とENIGMA Type-Pを接続して下さい。  
切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理して下さい。  
SE44/JにはO2センサー線はありません。
- ※ **本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。**

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、2、3、8、11、15、16、17、28の9箇所です。上図で良くご確認下さい

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。国内モデルのCYGNUS-Xに台湾モデル用のメーターを接続してタコメータを表示させるためには電圧が違うため使用できません。接続するとENIGMAが壊れます。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用ENIGMA専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※CYGNUS-X(2/3型) ENIGMA専用ソフト(アプリ)をお使いください。ENIGMA用はtype-Pにも対応します。他のバイク専用のENIGMAソフト(アプリ)やCYGNUS-X(2/3型)用のFirePlus専用のソフト(アプリ)はEASYモード/PROモード共接続できません。

## ENIGMAとシグナスX/B 'W125 (ECU) の接続方法 USBバージョン

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なシグナスXの整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外して下さい。ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面左下にECUがプラスネジ2本で固定されています。

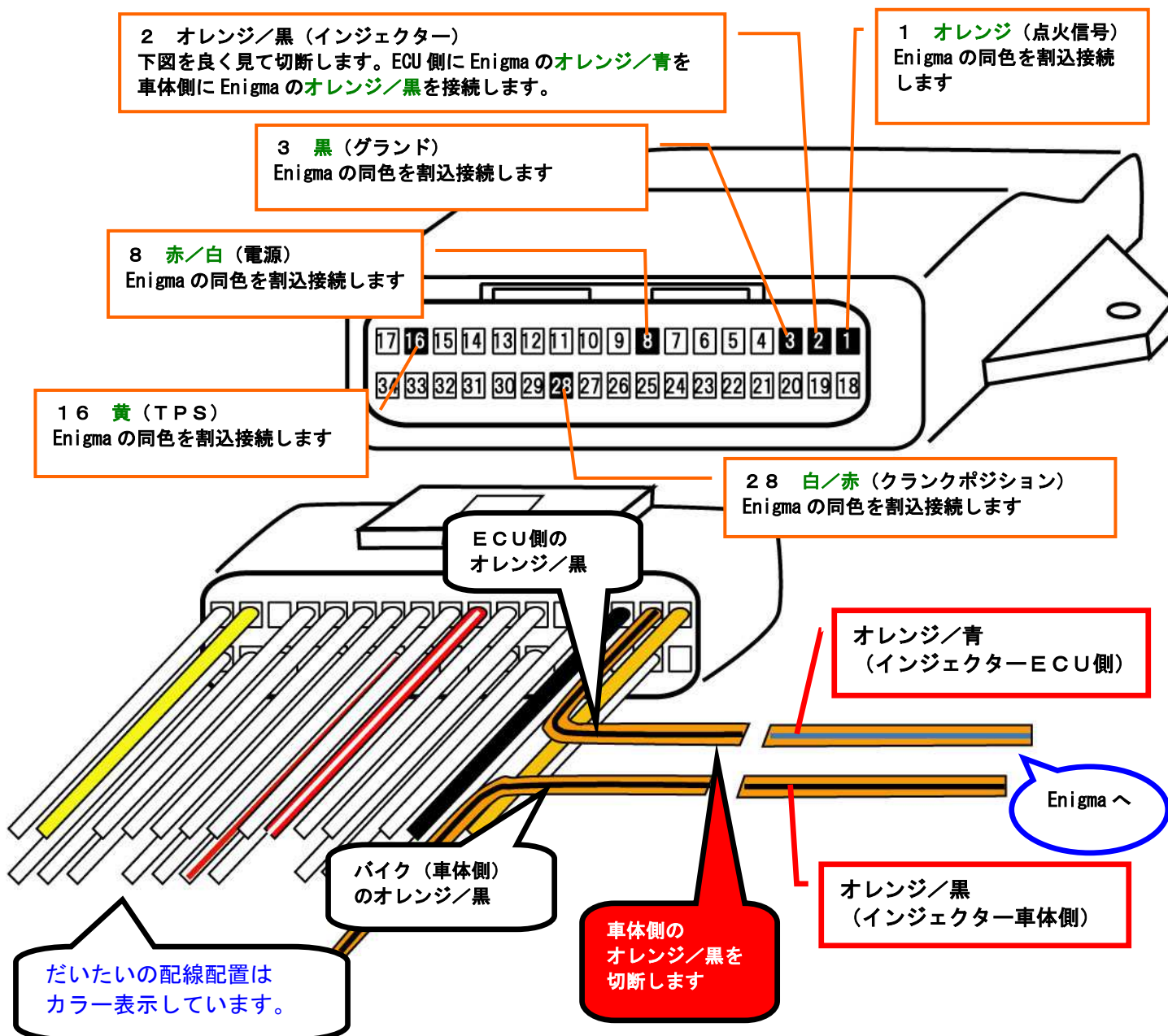
ECUに繋がっている34ピンコブラーを外し、配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。ENIGMAは近くに水に濡れないよう取り付けして下さい。配線加工後ECUを取り付けて下さい。

2型/3型用ENIGMAは4型CYGNUS-X(リアディスクブレーキタイプ)には使用できません。CYGNUS-X(4型)専用FirePlusをお使いください。

コブラー側の配線にENIGMA配線をインジェクター線を除き**割り込み接続します。**  
**(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)**  
**割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く**  
**ENIGMAの動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。**

- 基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。  
 下記の図を良く見て正しく接続して下さい。  
 ENIGMAから接続する配線は全部で7本です。  
**ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**
- ※ ECUの2番端子(オレンジ/黒)へ接続されている線を切断して、ENIGMAからの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ USBタイプにはFIランプの点滅による電波を出しているかいないかの表示がありませんので、ENIGMA Bluetoothタイプにある白線はUSBタイプにはありません。
- ※ 本体やUSBコネクタに直接水がかからないようにして下さい。配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。
- ※ USB線は強く折り曲げたり、強い力を加えないでください。またパソコンのUSB端子以外の物に差し込まないでください。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、2、3、8、16、28の6箇所です。上図で良くご確認ください
- 作業が完了したらパソコンとの接続を考えてUSBケーブルが繋げるように ENIGMA 本体を設置して下さい。シグナスXの場合フレームナンバーを見るために足元前方に付いている蓋を利用すると便利に出し入れ出来ます。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。国内モデルの CYGNUS-X に台湾モデル用のメーターを接続してタコメータを表示させるためには電圧が違うため使用できません。接続すると ENIGMA が壊れます。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。USB 接続するにはドライバのインストールが必要です。
- PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。ソフトは Bluetooth版と同じです。USB 版 ENIGMA はスマートフォンと接続できません。

<http://www.dilts-japan.com>

※CYGNUS-X(2/3型) ENIGMA 専用ソフトをお使いください。他のバイク専用の ENIGMA ソフトや CYGNUS-X(2/3型)用の FirePlus 専用のソフトは EASY モード/PRO モード共接続できません。